

**木・竹・和紙・織物など、京都の伝統産業から生じる端材や余材をリユース
子ども達の五感と探究心を育む「レッジョ・エミリア アプローチ」で授業&保育**

■京都女子大学附属小学校1年生 2025年10月8日(水)10:40~12:30

■京都幼稚園 5歳児クラス 2025年10月24日(金)10:20~12:00

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安栄子）は、イタリア発祥の幼児教育の実践「レッジョ・エミリア アプローチ」を研究する発達教育学部教育学科 津田純佳客員教授が、京都の伝統産業素材を活用した探究学習を、2025年10月8日（水）に京都女子大学附属小学校で、10月24日（金）に学校法人京都女子学園 京都幼稚園で実施することをお知らせします。

■子ども達が木・竹・和紙・織物など伝統的な「ものづくり」の素材の端材や余材に触れ、探究学習を深める！



京都女子大学附属小学校での授業を行う

津田客員教授

津田客員教授が実践する「レッジョ・エミリア アプローチ」はイタリア発祥の幼児教育で、子どもが様々な素材と出会い五感を使って自ら探究していく教育です。

今回は特定非営利活動法人 和の学校が、京都の伝統産業の工程から生じる木・竹・和紙・織物などの端材や余材を提供します。様々な「ものづくり」の一端に直接触れることで、子どもたちの想像力を養い、豊かな心を育みます。

和の学校は津田客員教授と協働して伝統産業の端材や余材をリユースして創造的な教育活動の素材として再活用するプロジェクト「つくものらぼ」に取り組んでおり、京都女子大学とは包括連携協定を結んでいます。

■伝統産業の素材をリユースし、子ども達の自由な発想を引き出す。発達教育学部の学生もサポート。

10月8日（水）の附属小学校では伝統工芸の職人から提供された由緒ある古木の端材を、10月24日（金）の京都幼稚園では、竹・和紙・織物のうちのいずれかを素材として扱う予定です。

津田客員教授による問い合わせや働きかけが、子ども達の自由な発想を引き出す環境を生み、探究学習が深まります。また、端材や余材とはいえ本物の一部に触れることで、子ども達に匂いや感触などの気付きが生まれ、伝統産業や文化の未来にもつながります。

両日とも、発達教育学部の1～4年生数名がサポートに入り、活動中に子どもたちが発した言葉や、表情、行動などを記録します。取り組みの一部は書籍化の予定です。

《レッジョ・エミリア アプローチについて》

イタリアのレッジョ・エミリア市発祥の幼児教育実践で、子ども一人ひとりの言葉、思考、好奇心、表現を大切にしながら、主体的、対話的な学びを重視しています。子どもたちの個性と能力を最大限発揮できる学びの環境やプロジェクト、運営などで世界的に注目されています。小学校での実践は日本初の試みとなります。

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ポート内）福嶋・井上 TEL：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 岡橋・竹縄 TEL：075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、ご取材日前日17時までに添付の返信用紙
もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。

開催概要

- 講 師 京都女子大学 客員教授 津田純佳
- 実践補助 特定非営利活動法人 和の学校 理事 吉川嘉宏
京都女子大学 発達教育学部 教育学科 教授 村井尚子
京都女子大学 発達教育学部 教育学科 1～4年生 8日 10名、24日 3名
- 内 容 木・竹・和紙・織物・など、京都の伝統産業から生じる端材や余材をリユースし、イタリア発祥の幼児教育の実践「レッジョ・エミリア アプローチ」で子ども達が探究活動を行う。

《京都女子大学附属小学校》

- 日 時 2025年10月8日（水）10:40～13:00
- 会 場 京都女子大学附属小学校 3Fコンピューター室
(京都市東山区今熊野北日吉町6番地3)
 - ・JR・近鉄「京都」駅から市バス206系統・208系統で約10分、「東山七条」下車、東へ徒歩約5分。
 - ・京都駅八条口から、プリンセスラインバスで約10分、「京都女子大学前」で下車。
 - ・京阪「七条」駅から、プリンセスラインバスで約5分、「京都女子大学前」で下車。
 - 地下鉄東西線(六地蔵方面行き)「蹴上駅」下車（出口1より）、7分。
- 参 加 者 京都女子大学附属小学校 1年生 29名、教員 3名、保護者 6名(学習サポーター)
- スケジュール 10:40～ 準備・説明
11:05～ 木の端材や余材を使用
12:10～ 振り返り（小学校教員、保護者、発達教育学部学生）
12:30 終了

《学校法人京都女子学園 京都幼稚園》

- 日 時 2025年10月24日（金）10:20～12:00
- 会 場 学校法人京都女子学園 京都幼稚園
(京都市東山区今熊野日吉町16番地の12)
- 参 加 者 京都幼稚園 園児 5歳児、幼稚園教諭
- スケジュール 10:20～ 準備・説明
10:45～ 竹・和紙・織物のうちいずれかを使用（予定）
11:50～ 振り返り（幼稚園教諭、発達教育学部学生）
12:00 終了

《津田純佳（つだあやか）プロフィール》 <https://migliorare.net/about-3/>

文化庁新進芸術家海外研修制度により、レッジョ・チルドレン（レッジョ・エミリア市/イタリア）にてアトリエリスタ研修、インクルーシブ教育研修を受け、約5年間、レッジョ・チルドレンのメンバーとしてローリス・マラグッティ国際センター、市立幼稚学校、市立保育所などで数々のアトリエや教育プロジェクトを実施。現在、子どもたちをはじめ、あらゆる人の学びの環境をよりよくする活動を実践中。

京都府幼児教育スペシャルアドバイザー（京都府）、渋谷プロジェクトレッジョ・インスピアイアの探究活動の実践（渋谷区・東京大学大学院教育学研究科付属発達保育実践政策学センター（CEDEP））、世田谷区乳幼児教育環境専門員（世田谷区）ほか。

※「アトリエリスタ」は、ことば、感情、五感、表現、道具、関係性、言葉ではないことばによって子どもたちの学びを深め、成長を支える役割を果たす。

《特定非営利活動法人 和の学校について》 https://wanogakko.jp/about_us.html

和の学校は、様々な日本文化の専門家にご参画いただき、伝統文化・伝統産業を次代に伝えることを目的に活動している特定非営利活動法人。「日本の伝統をやさしく、ふかく、おもしろく。」をコンセプトに掲げ、子ども達に幼児期から伝統に通じる豊かな「まなび」と「あそび」を推進する活動に取り組む。

【返信先】FAX:06-4393-8216 もしくは、fukushima@planning-boat.com

京都女子大学 広報デスク（プランニング・ボート内） 福嶋・井上 宛

木・竹・和紙・織物・など、京都の伝統産業から生じる端材や余材をリユース
子ども達の五感と探究心を育む「レッジョ・エミリア アプローチ」で授業＆保育

■京都女子大学附属小学校1年生 2025年10月8日(水)10:40～12:30

■京都幼稚園 5歳児クラス 2025年10月24日(金)10:20～12:00

ご取材

- 京都女子大学附属小学校 10月8日（水）10：40～12：30
- 京都幼稚園 10月24日（金）10：20～12：00

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 _____ 名様	
	(ムービー) _____ 台／ (スチール) _____ 台	
連絡先	TEL	FAX
	E-Mail	
当日のご連絡先	TEL	

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、取材日前日の17時までに添付の返信用紙
もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。